



ハンドアックスの展開写真(30~20万年前)

打ち割り 整え 使用する

減少のデザインに秘められた人類の進化

建築博物教室 第11回 公開ギャラリーセミナー

石器のアーキテクチャ

佐野 勝宏(東京大学総合研究博物館 特任助教/先史考古学)

日時：2016年11月26日(土) 13:30~15:00

会場：東京大学総合研究博物館小石川分館2階「空間標本」展示室

入場：無料(事前申込不要)

石器のアーキテクチャ

佐野 勝宏



(上)スクレイパーの変化(左から、前期、中期、後期旧石器時代へと変化)、(左下)槍先(石器)に付いた衝撃剥離、(右下)石器の3D スキャンをする様子

人類初めての道具である石器は、岩石を打ち割る、減少 (reduction) を繰り返すことで完成する。素材を付加していく土器と異なり、一撃で素材を破壊しかなない石器製作に、失敗は許されない。自然の石と見分けが難しい礫器から、見る人をほれぼれとさせるハンドアックスへの変化は、三次元の構造物を自在に製作する、技術と認知能力の発達が見られている。人類の進化に伴って発達した石器製作技術は、機能と流行のバランスの中で、様々なデザインを生み出していく。

東京大学総合研究博物館小石川分館

〒112-0001 東京都文京区白山 3-7-1
Tel. 03-5777-8600(ハローダイヤル)

開館時間: 10:00-16:30 (入館 16:00 まで)
入館料: 無料
休館日: 月・火・水曜日
(いずれも祝日の場合は開館)、年末年始、その他博物館が定める日
アクセス: 地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅より徒歩 8 分
<http://www.um.utokyo.ac.jp/architectonica/index.html>



佐野 勝宏 (さの かつひろ)

略歴

2010年 ドイツ、ケルン大学先史・原史学研究所にて博士(Dr.phil.)取得
2010年 東北大学大学院文学研究科助教
2013年 東京大学総合研究博物館特任助教(現職)

著書

Iovita, R. and Sano, K. (Eds.) 2016. Multidisciplinary Approaches to the Study of Stone Age Weaponry, Dordrecht: Springer, 303p.
Beyene, Y., Asfaw, B., Sano, K., and Suwa, G. (Eds.) 2015. Konso-Gardula Research Project Volume 2. Archaeological Collection: Background and the Early Acheulean Assemblages, Tokyo: The University Museum, The University of Tokyo, Bulletin No. 48, 178p.



槍先の変化(左から、中期、後期旧石器時代へと変化)

建築博物館とは？
「アーキテクチャ」をテーマにさまざまな分野の研究者が講演を行い、関連した標本を「アーキテクトニカ・コレクション」として展示していくシリーズイベントです。

建築ミュージアム / アーキテクトニカ
KOISHIKAWA Annex.
UMUT
東京大学総合研究博物館小石川分館